

コスト基準における企業転換

黒田インターナショナル

黒田 毅

企業が高い作業効率性と最低コストにおける生産と企業経営を行うことは、製品における世界標準化した基準における参加とともに、企業の利益の適正化を実現できる。

これらは必ず世界の先端基準における判断において企業環境の整備を要求される。

これらは、新しい時代における IOT、インダストリー4.0、3Dプリンターなどにおける生産と効率性は、新しい企業運営効率性の構築において、企業の安定利益化を実現できるのである。

これらは人件費と生産コストの大幅な削減を可能とし、これら新しい効率性と生産性基準における企業経営は、企業の利益の安定化を実現できるのである。

また流通におけるデータ管理とインターネットの利用は、その高い製品流通効率を可能とし、世界市場における標準化は、その売上の拡大と標準化した世界市場への参加を実現できるのである。

これらは新しい機能性を技術の進歩において与え、フリーエネルギーへの移行は、その費用対効果において、革命的現実を社会転換と生活革命において与えることができるのである。